加工機に速度や出力を入力する

フォークリフトで材料を加工機へ載せる

材料を運ぶ天井クレーンを操作

仕事図鑑

CASE 02

三和工業株式会社（石巻市）

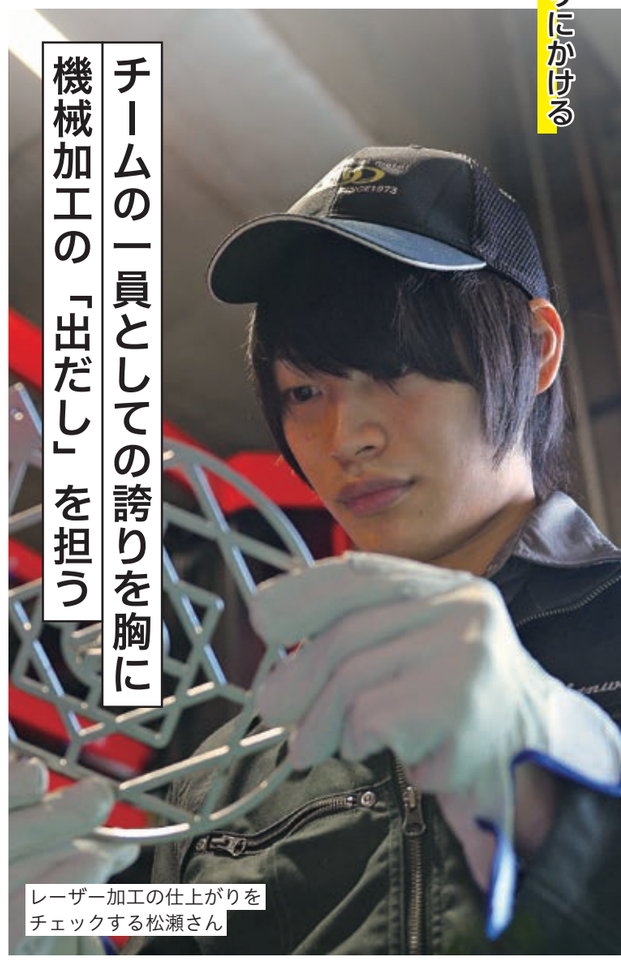
製造部生産技術課

松瀬 雄斗さん（23歳）

Matsuse Yuto

【特集】ものづくりにかける

チームの一員としての誇りを胸に 機械加工の「出だし」を担う


レーザー加工の仕上がりをチェックする松瀬さん

のどかな田園地帯に建つ 抜群の制度を誇る機械加工工場

なだらかな山を背に、目の前には田園風景が広がるのどかな場所に三和工業株式会社石巻工場があります。機械加工や板金、溶接などを主な事業とし、精度の高さと優れた技術力でクライアントの厚い信頼を得てきました。2022年と23年を合わせて8人の新卒者を採用するなど、若手社員が多く活躍していることも特徴的です。

さまざまな設備が並び材料が積み上げられた工場の中で、ひときわ大きな機械の前に立っていたのは、松瀬雄斗さん。機械はレーザー加工機で、中では巨大な鉄板に穴をあけたり切断したりといった加工が自動で行われています。外側に取り付けられたモニターには、レーザー機械が火花を散らしながら高速で動いている様子が映し出されていました。

若手もベテランに提案できる フラットな関係性に感動

松瀬さんは入社2年目で、レーザー加工機のオペレーションと、加工機に指示を与えるためのプログラミングを担当しています。機械加工の中で初期の工程で、曲げや溶接、組み立て、塗装といった作業の前段階にあたります。2年目にして技術力が必要な作業を任されているのは、同業他社で約4年の勤務経験があったから。

転職先を探していた松瀬さんは、ユニークなホームページに一目ぼれしたことと、実家から近いことで興味を持ったそう。決め手となったのは、見学に訪れた時に見た光景。「業務の効率と品質を上げるために社員全員一丸となっている姿がかっこよかった。この会社の一員になりたいと強く思ってすぐに心が決まりました」。その直感は正しく、入って一番印象的だったのは「若手がベテラン社員に意見を言ったり、提案したりが当たり前に行われていること」だったといいます。「より効率よく、より品質よく、より仕事しやすく、を全員が真剣に追求していて、経験年数にかかわらず誰の意見も聞いてくれる社風に感動しました」。

転職先でも「新人のつもりで」 疑問点は残さず聞く

子どもの頃からものづくりが好きで、段ボールを使って、草の上を滑り降りるソリや船の模型を作って遊んでいた松瀬さん。南郷高校の普通科に進みましたが、卒業後に就職したのはやはり好きなものづくりの世界、機械加工の会社でした。周りには工業高校出身者など専門知識を身につけた人ばかり。「最初は全然かなわなかったです。でもやりたくて選んだ仕事だから一生懸命勉強したし、技術はこっそり練習を繰り返しました」。分からないことは先輩に何度も質問し、体に染みつくまでとにかく手を動かしました。

三和工業に転職した当初も、謙虚な心がけは同じでした。レーザー加工やプログラミングは前職で経験していましたが、「会社によって機械も違うし、仕事のやり方やルールも違う。まるっきり新人のつもりで始めようと思って入りました」。

慣れていたやり方が違っていて疑問を感じた時はうやむやにせず、「なぜこの方法をとるのか」と質問しました。先輩は丁寧に答えてくれて、動線や効率性が良いなどメリットが多いことが分かり納得できました。徐々に仕事に慣れると、同社では一人一人に仕事の効率性を追求する習慣が浸透していることが見えてきました。「働きやすい会社だと思いましたね。それと、技術力の高さも驚きでした。実家から5分の場所にこんなにレベルの高い企業があったなんて知らなかった」。

誰もがクライアントと直に電話OK その場で提案を行うことも

機械加工の仕事は、基本的にクライアント側から出された図面に従って加工を行います。時にその図面が不十分であったり、矛盾が含まれていたりする場合があると言います。そのようなときは、現場の担当者から相談を受けた責任者がクライアントに連絡を取り、十分に気を使いながら問い合わせていました。しかし3年前に代表に就任した佐藤隆一社長は「技術者は誰でも直接クライアントに連絡をして構わない」と思い切った〝大号令〟を出しました。

「業界では珍しいことだと思います。でも、作業者本人が直接話すことで時間的ロスがなく、課題も解決しやすい。さらにこちらから、より早く美しく仕上がる方法を提案することもでき、お互いにとってメリットが多い」と語る松瀬さん。提案した方法をクライアントに納得してもらい、しかも作業効率がアップすれば、自分の自信にもつながります。

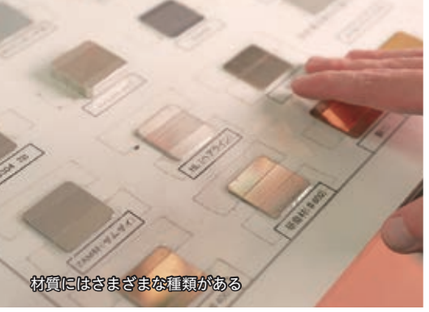
会社概要

三和工業株式会社

所在地	〒989-4203　遠田郡美里町練牛字26-36（本社・塗装工場）、〒987-1103　石巻市北村字大溜池93-3（石巻工場・生産拠点）
TEL	0225-86-3286
URL	https://sanwa-kg.com
代表	代表取締役　佐藤 隆一
設立	1982年2月
従業員数	45人（2023年5月現在）

健康経営優良法人認定！ 特に優れた取り組みの証「ブライト500」 置き型社食やヨガ教室で楽しく健康に

健康経営優良法人（中小規模法人部門）のうち、特に優れた取り組みが認められた全国上位500社に与えられる称号が「ブライト500」。三和工業は2023年にこのブライト500を取得しました。佐藤隆一社長は「健康経営は先代の強い願いだった」と話します。2年前、当時の会長が病に倒れた際、「社員の健康が何より大切。必ず守ってほしい」と話したことをきっかけに、取り組みを始めました。特徴的な福利厚生活動の一つは「置き型社食」。栄養バランスを考えて作られ真空包装されたお惣菜やご飯が定期的にオフィスに届き、休憩室の冷蔵庫に保管するというものです。従業員はどれでも1つ100円で購入し、電子レンジで温めるなどして好きな組み合わせで昼食をとることができます。「栄養があっておいしい」と好評です。もう一つは、社員全員が参加するヨガ教室。腰痛の訴えに対応して年に一回開催しています。就業時間内に工場をストップさせ、半日かけて専門インストラクターの指導を受けじっくり自分の体と向き合います。自分に合うポーズを正しく覚えれば、日頃のケアにも生かせます。「製造業は体が基本。心身ともに健康で働いてもらいたい」と佐藤社長は願っています。


材質にはさまざまな種類がある

疑問に感じたことはすぐ相談

パソコンでプログラミング作業

機械の部品はこまめにチェック

レーザー加工後は「バリ取り機」へ

高速で自動運転するレーザー加工機

より早く、より美しく 後工程が仕事をしやすい工夫を

ものづくりに失敗はつきもので、松瀬さんもミスによって不良を出した経験は「もちろん、あります」。三和工業ではミスが起きた際にしっかりと原因を明らかにして報告書を作成し、同じ工程上の各責任者に確認してもらい、最後は社長に自分で提出します。「社長は優しい人ですが、すごく緊張します。でも再発防止のためにミスの検証はとても大事なので」と松瀬さん。重要なのはミスした経験を次に生かすこと、製造業の鉄則です。

松瀬さんがこだわっている点は「スピード」と「バリ（穴などの周りに付着する金属の残留物）の少なさ」。レーザー加工は製造工程の初めにあたるため、ここで時間のロスがあれば後の工程に大きく響きます。「特に曲げや溶接といった人の手による加工は、焦るほどミスや不良が起きやすい。納期まで余裕のある状態で渡して、安心して作業してもらえるようにしたい」と松瀬さん。そのために、加工機が動いている間に次のプレートを用意したり、終わればすぐ入れ替えたりとできる限り効率を上げます。また、加工後にバリが多く残ると、次の工程でサンダーがけなどの手間が発生し効率が下がるため、なるべくバリを出さない工夫も。これは加工機の速度や出力の設定を、材質や厚みごとに調整することで行います。後の工程の担当者から「助かったよ」と声をかけられると「褒められたようでうれしい」とはにかみます。

レーザー以外も貪欲に学び 会社にとって価値ある人材に

松瀬さんが担当するレーザー加工の段階では、まだ完成品の形は見えません。だからこそ「出来上がった製品を見ると、しみじみ自分が携われたことの実感が湧く」と話します。入社前の工場見学で強く感じた「この会社の一員になりたい」という願いが、叶った気持ちになるとも。

今後の目標は、レーザー加工やプログラミングの技術を究めること。プログラムを作成するには、完成形から一枚の平面に展開する作業が必要になりますが、ここは腕の見せ所。どこを切断して展開するか、どこを溶接しどこを曲げるのか、スムーズに加工できるベストな形は……機械の性能や作業効率も考え、併せて知恵を絞ります。スキルを磨くには他の工程の仕事をもっと知る必要もあります。いつか「難しい製品も松瀬なら任せられる」と言ってもらえるようになりたい。「会社にとって価値のある人材になれるように努力します！」。やる気に満ちた笑顔を見せてくれました。

後輩からも意見が言いやすい社風

定着のポイント　社外での研修 も継続的に実施

スムーズに職場になじむための準備として、入社時に社内、社外でしっかりと研修を実施します。また部署ごとの責任者が定期的に会議を開き、課題を共有したり従業員の声を経営陣に届けたりといった取り組みを行っています。

入社

- **社内研修**
  安全講習、技術講習の他、社内の決め事などを1週間かけて習得してから現場に配属。
- **社外研修**
  最初の一年間、毎月一回の合同社外研修に参加する。社会人としてのマナーを身につけることと、「社外に同年代の仲間を作る」ことが目的。一年間ともに研修を受けることで、仕事や人間関係の悩みを相談できる関係性を構築する。

職場環境の改善

- **幹部会議**
  毎月一回、半日を費やして幹部会議を開催。職場の課題や従業員からの要望を共有し議論して環境改善につなげる。

Voice 採用担当者の声

代表取締役
佐藤 隆一さん

話しベタでもいい 情熱ある人材求む！

面接で見るのは「心の中に熱いものがあるか」。上手に話せなくても、特別にほがらかでなくても、どこか光るものや情熱のある人は分かるものです。分かるまで、話を聴くようにしています。物事に熱中したり興味を掘り下げてとことん追求したりするのが好きな人は、この業界に向いていると思います。ものづくり好き、集まれ！

Voice 上司の声

製造一課
関 義徳さん

好奇心を持って仕事を楽しむ 同世代を牽引するエースとして期待

今どきの若者らしくとても器用で、覚えも早い。一つ覚えると次の新しいことに挑戦したくなる様子で、さまざまなことに興味を持ち、仕事を楽しんでいるようですね。努力家で好感の持てる人柄で、私にとってはかわいい存在です。

同業他社から転職してきた当初は、以前の会社と似たようで異なる機械もあり、戸惑うことがあったかもしれませんが、何でも素直に受け入れ分からないことは質問してクリアしていきました。ここ数年、若い職人が多く入社している中で、将来的には世代を引っ張っていくエースとなってくれると期待しています。

当社は、年齢や経験を問わず意見を出し合うことで成長してきました。現社長は若くバイタリティに満ちています。松瀬くんも自分の力を存分に発揮して、しっかり付いていってほしいです。

松瀬さんのある1日

- 8：30　ラジオ体操、朝礼
- 8：40　レーザーオペレーター業務
- 10：00　休憩（10分）
- 12：00　昼休憩
  近いので自宅へ戻って食事
- 13：00　コーディング（プログラム作成）作業、キリのいいところで切り上げ、オペレーター業務へ
- 15：00　休憩（10分）
- 16：00　夜間に自動加工するための材料を準備
- 17：20　終業

後輩へメッセージ

経験は関係ない！ 努力が報われる仕事

工場見学に行けば会社の雰囲気がよく分かりますが、全部に足を運ぶのは難しいときホームページも参考になります。希望する業界の会社をいくつか見比べてみると、自分に合う会社が見つかるかもしれません。製造業は工業科と決めつけず、普通科の人も興味があれば挑戦してほしい。僕は普通科出身ですが、この仕事がとても好きです。最初は知識量に差を感じますが、努力次第で必ず追いつけるし、助けてくれる人も必ずいます。年齢も経験も関係なく働ける業界だと思います。

オフショット

家での相棒、癒しの存在 ゴロゴロと喉を鳴らす「ゴロ」

小さい頃から家にはずっとネコがいて、もはやネコのいない生活は考えられません。今飼っているのは7歳のオスで名前はゴロ。保健所から引き取ってきたとき、なでると喉をよくゴロゴロと鳴らしたので、家族みんなが「名前はゴロだね」と笑って決めました。最初は小さくて痩せた体でしたが、家族中で甘やかしてごはんをたくさんあげるせいか今は少々太り気味です。仕事から帰ると迎えにきてくれるのがかわいいですね。疲れている日はゴロをなでると元気になれるし、気持ちよさそうに寝ている姿を見るとこちらも癒されます。ずっと長生きしてほしいです。